地域・社会、環境への貢献

太陽生命厚生財団

太陽生命厚生財団は、1984年5月に、当社の創業90周年を記念して「太陽生命ひまわり厚生財団」として設立されました。2009年12月には公益財団法人に移行し、「公益財団法人太陽生命厚生財団」に名称変更しています。

当財団は、創設以来「高齢者の福祉」および「障がい者の福祉」に関する事業・調査研究への助成を行い、設立目的である「わが国の社会福祉の向上に寄与する」ための事業を続けています。設立以来の助成金累計は2,493件、13億7,362万円となっています。

太陽生命グッドウィル･サークル友の会

2005年12月に、役職員による社会貢献活動を支援することを目的として、「太陽生命グッドウィル･サークル友の会」を設立しました。毎月の報酬・給与の手取り金額の100円未満の端数を会費として、森林保全活動や各職場における地域密着型の社会貢献活動などを支援しています。

太陽生命の森林（もり）

東西2か所に「太陽生命の森林（もり）」を設置し、社員ボランティアが自らの手で森林保全活動を展開しています。

太陽生命の森林（もり）

（栃木県那須塩原市　2006年3月設置）

カラマツの人工林4.8ヘクタールにおいて、『いのち輝く明るい森林づくり』を活動テーマに掲げ、間伐、林道整備、憩いの広場整備などを実施しています。

社員ボランティアによる整備活動によって、手入れが行き届かず暗かったカラマツの人工林が太陽の光が射し込む明るい森林へと生まれ変わり、親しみやすい森林づくりが進んでいます。

2012年からは、公益財団法人日本ダウン症協会に所属されているご家族をお招きして「森林教室」を実施しています。

太陽生命くつきの森林（もり）

（滋賀県高島市　2007年11月設置）

旧里山林12.7ヘクタールにおいて、『恵み豊かな里山林づくり』を活動テーマに掲げ、アカマツ林の保全、広葉樹林の育成やビオトープ整備などを実施しています。むかし里山として人と密接なかかわりを持っていた森林の原風景を維持しながら、新しい形で人とかかわる森林づくりを進めています。

2011年からは、高島市立朽木東小学校と協働で「どんぐりプロジェクト」を実施しています。3年生がどんぐりをポットに植え付け、3年間育てた苗木を卒業時に森林に植える活動であり、ナラ枯れやシカの食害の影響を受けている広葉樹の森林の再生に取り組んでいます。

上記取り組みが評価され、2023年10月に30by30「自然共生サイト」に認定されました。